

開講年度：2026

科目名	感染症(2年) Infectious disease (2nd grade)	題目(副題)	
担当教員、教員連絡先内線	小嶋 克彦 内藤 隆文・金井 信一郎・菅野 祐幸・牛木 淳人	5202	
学年、講義期間、曜日・時限	2年 後期(随時)	月曜・3時限 月曜・4時限 月曜・5時限 月曜・6時限 火曜・1時限 火曜・2時限 火曜・3時限 火曜・5時限 火曜・6時限 水曜・1時限 水曜・2時限 水曜・3時限 木曜・1時限 木曜・2時限 木曜・3時限 木曜・5時限 木曜・6時限 金曜・3時限 金曜・4時限 金曜・5時限 金曜・6時限	
単位数、講義室	2単位 医学科第1臨床講堂	遠隔授業科目	
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素 ⇄ 授業達成目標		
	M22カリ・医学		
	患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して、適確に判断し、必要な行動ができる。	⇄	感染症に対する治療法(特に抗微生物薬の特性、使用法、抗微生物薬に対する耐性の仕組み)と予防法を理解し、適切な行動ができる。
	疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技法を修得している。	⇄	病原微生物の特性(特に病原性について)を感染症発症のメカニズムと対応して理解する。生物がいかに巧みな構造と機能を持っているかを微生物を通じて理解する。
	M26カリ、M26カリ・医学、M25カリ、M25カリ・医学、M24カリ、M24カリ・医学、M23カリ、M23カリ・医学		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫疾病の正確な診断と適切な治療を遂行するための幅広い知識と高度な技能を修得している。	⇄	病原微生物の特性(特に病原性について)を感染症発症のメカニズムと対応して理解する。生物がいかに巧みな構造と機能を持っているかを微生物を通じて理解する。
	≪問題解決力≫患者の身体的・心理的・社会的状態を科学的に評価し、さまざまな情報を総合して適切に判断し必要な行動ができる。	⇄	感染症に対する治療法(特に抗微生物薬の特性、使用法、抗微生物薬に対する耐性の仕組み)と予防法を理解し、適切な行動ができる。
臨床実習前の到達目標	・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務の重要性を説明できる。 ・講義、教科書、検索情報などを基に、自らの考えを示すことができる。 ・必要最低限の病歴を聴取し、基本的な身体診察を行うことができる。 ・患者・家族に共感することの重要性について概説できる。 ・チーム医療における医師の役割を説明できる。 ・医療事故の防止において個人の注意、組織的なリスク管理の重要性を説明できる。 ・生命科学の講義や実習から得られた情報や知識を基に疾患の理解・診断の深化につなげることができる。 ・信州の医療圏の特徴を説明できる。		
授業で学べる「テーマ」	健康長寿		
全学横断特別教育プログラム			
授業のキーワード	微生物の基本的特性、遺伝学、感染症、微生物の病原性、感染防御機構、抗微生物薬、ワクチン、病原微生物、寄生虫病、熱帯病、顧みられない感染症、新興再興感染症、SDGs(持続可能な開発目標)、節足動物媒介感染症、感染防御、人獣共通感染症、日和見感染症、衛生動物、毒蛇咬傷 実務経験のある教員による授業科目		
授業の概要・一般目標	PS-01-02-21 生体の恒常性維持における常在菌・腸内細菌と宿主との相互作用の重要性について理解している。 PS-01-03-01 原核生物としての細菌の構造と機能の違いについて真核生物と比較して理解している。 PS-01-03-02 細菌の感染経路を分類し、細菌が疾病を引き起こす機序について理解している。 PS-01-03-03 細菌の産生するタンパク質性毒素、非タンパク質性毒素の作用機序について理解している。 PS-01-03-04 主なグラム陽性球菌、グラム陽性桿菌、グラム陰性球菌、グラム陰性桿菌の細菌学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。 PS-01-03-05 抗酸菌の細菌学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。 PS-01-03-06 らせん状細菌、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 PS-01-03-07 生体各部の細菌叢(マイクロバイオーーム)の構成菌、細菌叢の機能について概要を理解している。 PS-01-03-08 ウイルス粒子の構造と性状によりウイルスを分類できる。 PS-01-03-09 ウイルス感染の種特異性、組織特異性と吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程、ウイルス感染細胞に起こる変化について理解している。 PS-01-03-10 主なDNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。 PS-01-03-11 主なRNAウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患名を列挙できる。 PS-01-03-12 真菌(接合菌、子囊菌、担子菌、不完全菌)の微生物学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、それが引き起こす疾患を列挙できる。 PS-01-03-13 寄生虫の分類、形態学的特徴、生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染		

授業の概要・一般目標	疫学的意義、寄生虫感染宿主の生体防御の特徴について理解している。 PS-01-03-14 微生物の特性に応じた治療薬の作用機序について概要を理解している。 PS-01-03-15 微生物感染症に対するワクチンの原理、種類とそれに対する問題点について理解している。 PS-01-03-16 人獣共通感染症の原因となる微生物について、その生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義について理解している。 PS-01-03-17 媒介性感染症の原因となる微生物について、その生活史、リスク因子、感染経路と病態、感染疫学的意義を理解している。 PS-01-03-26 ウイルス、細菌、真菌と寄生虫に対する免疫応答の特徴の概要について理解している。 PS-03-03 感染症
テキスト，教材，参考書	講義用資料はe-ALPSからダウンロードして備えること。 参考書 Fields 他；Fields Virology Mandell他：Principles and Practice of Infectious Disease 9th edition, ELSEVIR 矢崎義雄・小室一成編：内科学第12版、朝倉書店 笹川千尋 編 ； 医科細菌学、南江堂 吉田真一・柳雄介他編； 戸田新細菌学、南山堂 大里外誉郎 編 ； 医科ウイルス学、南江堂 吉田幸雄、有蘭直樹 ； 図説人体寄生虫学、南山堂
履修上の注意	本講義は、感染症基礎領域、感染症臨床領域、寄生虫学領域の3領域から構成されている。
授業の形式，視聴覚機器等の活用	講義資料はあらかじめeALPSにアップロードするので、各自でダウンロードすること。
成績評価の方法	多肢選択式による期末試験を行う。試験問題の出題割合は、寄生虫学10%、感染症基礎領域40%、感染症臨床領域50%とする。 また、感染症基礎領域に関するレポート課題も評価に加え、総合的に成績評価を行う。
成績評価の基準	90－100点：秀 80－89点：優 70－79点：良 60－69点：可 全ての回に出席することを基本とします。この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数（およそ8割程度）に出席が満たない場合は、単位を認めない場合があります。欠席した場合の学修補充については、医学部医学科履修及び試験内規に従います。
事前事後学習の内容	eALPSにアップロードされた講義資料の該当範囲を予習しておくこと。 課題については、授業中に指示をする。 本授業の単位修得には30時間分の時間外学習が必要です。
学生へのメッセージ並びにオフィスアワー（質問，相談への対応）	氏名 ； 小嶋 克彦 所属 ； 免疫・微生物学教室 オフィスアワー：毎週木曜日17:00～18:00 場所 ； 基礎棟4階免疫・微生物学教室 連絡先 ； 電話：0263-37-2615 E-mail：kkojim@shinshu-u.ac.jp

授業日	第 1 回	10月15日(木 1)	SB0s	PS-01-03-01
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	細菌学序論			・細菌の分類と真核細胞との違いについて説明できる。 ・感染症法とその成立の歴史、背景を説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 2 回	10月15日(木 2)	SB0s	PS-01-03-01、PS-01-03-03
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	細菌学総論：細菌表層構造			・細菌の表層構造とその違いが細菌の性質や生理に及ぼす影響を説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 3 回	10月15日(木 3)	SB0s	PS-01-03-01、PS-01-03-03
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	細菌学総論：細菌生理			・細菌内毒素が生体に及ぼす影響について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 4 回	10月16日(金 3)	SB0s	
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 5 回	10月19日(月 3)	SB0s	
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 6 回	10月20日(火 1)	SB0s	PS-01-03-14
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	細菌学総論：化学療法ーペニシリン			・ペニシリンの作用機序とその副反応について説明できる。 ・薬剤耐性、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌を概説できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 7 回	10月20日(火 2)	SB0s	PS-01-03-14
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	細菌学総論：化学療法ーセフェム			・セフェム、カルバペネムの作用機序とその副反応を説明できる。 ・多剤耐性菌について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 8 回	10月20日(火 3)	SB0s	PS-01-03-14
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	細菌学総論：化学療法ーアミノグリコシド・マクロライド・テトラサイクリン			・βラクタマーゼ阻害薬以外の細胞壁合成阻害剤の作用機序とその副反応について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 9 回	10月21日(水 1)	SB0s	PS-01-03-13、PS-01-03-16
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	医動物学総論について修得する。			医動物学の専門用語、寄生虫の分類、寄生虫の感染疫学、寄生虫病の特徴、人畜共通寄生虫病、顧みられない感染症、新興再興感染症、SDG s 等についてその概略を説明できる。
担当	松岡 裕之			
授業日	第 10 回	10月21日(水 2)	SB0s	PS-01-03-13、PS-01-03-26
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	原虫類の分類、形態学的特徴、生活史等について修得する。			原虫による疾患について代表的なものを理解し説明できる。 1. マラリア 2. アメーバ赤痢 3. ジアルジア症 4. トキソプラズマ症 5. トリコモナス症
担当	松岡 裕之			

授業日	第 11 回	10月21日(水 3)	SB0s	PS-01-03-13、PS-01-03-26
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	線虫類の分類、形態学的特徴、生活史等について修得する。			線虫による疾患について代表的なものを理解し説明できる。 1. 回虫症 2. 蟯虫症 3. アニサキス幼虫症 4. 鞭虫症 5. 幼虫移行症
担当	松岡 裕之			
授業日	第 12 回	10月22日(木 1)	SB0s	PS-01-03-14
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学総論：化学療法ーニューキノロン			・ニューキノロン系薬剤の作用機序とその副反応について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 13 回	10月22日(木 2)	SB0s	PS-01-03-14、PS-03-03
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	抗菌薬概論 抗微生物薬の作用・副作用、相互作用について学ぶ			病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。
担当	内藤隆文（薬剤部）			
授業日	第 14 回	10月22日(木 3)	SB0s	PS-01-03-14、PS-03-03
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	抗菌薬使用と耐性化問題 薬剤耐性菌の特徴と耐性機構を学ぶ			薬剤耐性(antimicrobial resistance <AMR>)、菌交代現象・菌交代症、薬剤耐性菌（Methicillin-resistant Staphylococcus aureus <MRSA>、バンコマイシン耐性腸球菌(vancomycin-resistant Enterococci <VRE>)、基質特異性拡張型 β ラクタマーゼ(extended spectrum beta-lactamase <ESBL>)産生 Gram 陰性桿菌、多剤耐性アシネトバクター属菌、カルバペネム耐性腸内細菌科細菌等)を概説できる。
担当	内藤隆文（薬剤部）			
授業日	第 15 回	10月23日(金 3)	SB0s	PS-01-03-14、PS-03-03
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	抗菌薬適正使用/AST 抗菌薬の適正使用について学ぶ			抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。 1) 抗菌薬の作用・副作用、相互作用を理解すると共にその回避法を考え実践できる。 2) 抗菌薬の体内動態を理解し、その変動要因を説明できる。
担当	平井啓太（薬剤部）			
授業日	第 16 回	10月26日(月 3)	SB0s	PS-01-03-14、PS-03-03
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	抗菌薬投与設計 抗菌薬のTDMに基づく投与設計を学ぶ			抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。 1) 抗菌薬の薬物投薬設計法を理解し、適正な抗菌薬投与を実践できる。
担当	平井啓太（薬剤部）			
授業日	第 17 回	10月27日(火 1)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-14、PS-01-03-15、PS-03-03
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	抗菌薬適正使用			①各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。 ⑤病原微生物及び感染臓器ごとの適切な抗微生物薬を説明できる。 ⑥抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。
担当	金井 信一郎			
授業日	第 18 回	10月27日(火 2)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04、PS-01-03-07
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陽性球菌ーブドウ球菌			・ブドウ球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・生体各部の細菌叢の構成と機能について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 19 回	10月27日(火 3)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陽性球菌ー化膿レンサ球菌			・化膿レンサ球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 20 回	10月28日(水 1)	SB0s	PS-01-03-13、PS-01-03-26
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	吸虫類の分類、形態学的特徴、生活史等について修得する。			吸虫類による疾患について代表的なものを理解し説明できる。 1. 日本住血吸虫症 2. 肺吸虫症 3. 肝吸虫症 4. 肝蛭症
担当	松岡 裕之			

授業日	第 21 回	10月28日(水 2)	SB0s	PS-01-03-13、PS-01-03-26
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	条虫類の分類、形態学的特徴、生活史等について修得する。			条虫類による疾患について代表的なものを理解し説明できる。 1. 日本海裂頭条虫症 2. 無鉤条虫症 3. 有鉤条虫症 4. 囊虫症 5. エキノコックス症
担当	松岡 裕之			
授業日	第 22 回	10月28日(水 3)	SB0s	PS-01-03-13、PS-01-03-14、PS-01-03-17
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	有害節足動物の分類、形態学的特徴、生活史等について修得する。			節足動物媒介感染症について感染経路、診断、治療、予防法等について修得する。 1. 外部寄生虫の分類、及び形態学的特徴を説明できる。 2. 外部寄生虫症の診断、治療と予防の概要を説明できる。 3. リケッチア感染症を説明できる。 4. 毒蛇咬傷、ハチ刺症についてその概略、治療等について説明できる。 5. 節足動物媒介感染症について感染経路、診断、治療、予防法等について説明できる。
担当	松岡 裕之			
授業日	第 23 回	10月29日(木 1)	SB0s	PS-01-02-21、PS-01-03-02、PS-01-03-04
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陽性球菌－肺炎レンサ球菌・腸球菌			・肺炎レンサ球菌や腸球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・市中肺炎、院内肺炎、日和見感染について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 24 回	10月29日(木 2)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-04、PS-01-03-26
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陰性球菌－淋菌			・淋菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・淋菌の宿主免疫回避機構を説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 25 回	10月29日(木 3)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-04
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陰性球菌－髄膜炎菌			・化膿レンサ球菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・病原微生物の感染経路の種類について列挙できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 26 回	10月30日(金 3)	SB0s	PS-01-02-21、PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04、PS-01-03-07
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陽性桿菌－クロストリジウム属菌・ジフテリア菌			・クロストリジウム属菌、ジフテリア菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・クロストリジウム属菌、ジフテリア菌の毒素の作用機序について説明できる。 ・宿主常在菌との関係性について理解している。 ・生体各部の細菌叢の構成と機能について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 27 回	10月30日(金 4)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陰性桿菌－大腸菌			・大腸菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・大腸菌の病原性因子の作用機序や合併症の発症機序について説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 28 回	10月30日(金 5)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陰性桿菌－赤痢菌			・赤痢菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患の発症機序を説明できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 29 回	10月30日(金 6)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04、PS-01-03-16、PS-01-03-17
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陰性桿菌－サルモネラ菌・エルシニア菌・クレブシエラ菌・セラチア菌			・サルモネラ菌・エルシニア菌・クレブシエラ菌・セラチア菌の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ・サルモネラ菌・エルシニア菌・クレブシエラ菌・セラチア菌の感染経路について説明できる。 ・人獣共通感染症の原因となる微生物を列挙できる。 ・媒介性感染症の原因となる微生物を列挙できる。
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 30 回	11月 4日(水 3)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-04
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：グラム陰性桿菌－ビブリオ属菌・エロモナス属菌・ヘモフィルス属菌・パスツレラ属菌			・ビブリオ属菌、エロモナス属菌、ヘモフィルス属菌、パスツレラ属菌の細菌学的特徴と感染経路、それが引き起こす疾患を列挙できる。 ・ビブリオ属菌、エロモナス属菌、ヘモフィルス属菌、パスツレラ属菌の病原性メカニズムについて説明できる。
担当	小嶋 克彦			

授業日	第 31 回	11月 5日(木 1)	SB0s	PS-01-02-21、PS-01-03-02、PS-01-03-04、PS-01-03-16 ・ シュードモナス属菌、レジオネラ属菌、ボルデテラ属菌、ブルセラ属菌、フランシセラ属菌の細菌学的特徴と感染経路、それが引き起こす疾患を列举できる。 ・ シュードモナス属菌、レジオネラ属菌、ボルデテラ属菌、ブルセラ属菌、フランシセラ属菌の病原性メカニズムについて説明できる。 ・ 日和見感染を引き起こす病原体を列举できる。 ・ 人獣共通感染症を引き起こす病原体を列举できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	細菌学各論：グラム陰性桿菌－シュードモナス属菌・レジオネラ属菌・ボルデテラ属菌・ブルセラ属菌・フランシセラ属菌			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 32 回	11月 5日(木 2)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-06 ・ マイコプラズマ、クラミジアの細菌学的特徴と感染経路、それが引き起こす疾患を列举できる。 ・ クラミジアの生物型による病原性の違いを説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	細菌学各論：マイコプラズマ・クラミジア			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 33 回	11月 5日(木 3)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-06、PS-01-03-17 ・ リケッチア、バルトネラの細菌学的特徴と感染経路、それが引き起こす疾患を列举できる。 ・ 媒介性感染症を引き起こす病原体を列举できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	細菌学各論：リケッチア・バルトネラ			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 34 回	11月 6日(金 3)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-04、PS-01-03-06、PS-01-03-07、PS-03-03 代表的な細菌感染症の病態を説明できる。 ①Gram 陽性球菌(ブドウ球菌、連鎖球菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列举できる。 ②Gram 陰性球菌(淋菌、髄膜炎菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列举できる。 ③Gram 陽性桿菌(破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列举できる。 ④Gram 陰性桿菌(大腸菌、緑膿菌、レジオネラ菌、インフルエンザ桿菌、デフィシル菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列举できる。 ⑤Gram 陰性ヘリコバクター属病原菌(Helicobacter pylori)の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列举できる。 ⑥抗酸菌(結核菌、非結核性(非定型)抗酸菌)の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列举できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	細菌感染症の病態と病理：細菌感染によって生じる病態を学ぶ			
担当	藤井 千文			
授業日	第 35 回	11月 6日(金 4)	SB0s	PS-01-03-14、PS-01-03-26、PS-03-03 診断・検査・治療の基本 ①ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。 ②細菌感染症診断における直接塗抹、Gram染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。 ③真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。 臨床検査 ①臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ②臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。 ③病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ④細菌学検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	感染症診断のための検査の基本を学ぶ			
担当	松本 剛、上原 剛			
授業日	第 36 回	11月 6日(金 5)	SB0s	PS-01-03-14、PS-01-03-26、PS-03-03 診断・検査・治療の基本 ①ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。 ②細菌感染症診断における直接塗抹、Gram染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。 ③真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。 臨床検査 ①臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ②臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。 ③病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ④細菌学検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	感染症診断のための検査(ルーチン検査、血清学的検査)を学ぶ			
担当	松本 剛、上原 剛			
授業日	第 37 回	11月 6日(金 6)	SB0s	PS-01-03-14、PS-01-03-26、PS-03-03 診断・検査・治療の基本 ①ウイルス感染症診断における抗原検査、核酸増幅検査、血清抗体検査を説明できる。 ②細菌感染症診断における直接塗抹、Gram染色、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査、毒素検出検査、血清抗体検査を説明できる。 ③真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。 臨床検査 ①臨床検査の目的と意義を説明でき、必要最小限の検査項目を選択できる。 ②臨床検査の正しい検体採取方法と検体保存方法を説明できる。 ③病態を推察する基本的検査と確定診断のための検査の意義・相違点を理解・説明できる。 ④細菌学検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験)の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	感染症診断のための検査(細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験、PCR 検査)を学ぶ			
担当	松本 剛、上原 剛			
授業日	第 38 回	11月 9日(月 3)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	自習			
担当				
授業日	第 39 回	11月10日(火 1)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-06 ・ カンピロバクター属菌、ヘリコバクター属菌の細菌学的特徴と感染経路、それが引き起こす疾患を列举できる。 ・ カンピロバクター属菌、ヘリコバクター属菌の病原性メカニズムについて説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
G10	細菌学各論：らせん状菌－カンピロバクター属菌・ヘリコバクター属菌			
担当	小嶋 克彦			

授業日	第 40 回	11月10日(火 2)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-03、PS-01-03-06 ・トレポネーマ属、レプトスピラ属の微生物学的特徴と感染経路、それが引き起こす疾患を列挙できる。 ・トレポネーマ属、レプトスピラ属の病原性メカニズムについて説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学各論：スピロヘーター トレポネーマ属・レプトスピ ラ属			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 41 回	11月10日(火 3)	SB0s	PS-01-03-01、PS-01-03-02、PS-01-03-04、PS-01-03-06 ①細菌の構造を図示し、形態と染色性により分類できる。 ②細菌の感染経路を分類し、説明できる。 ③Gram陽性球菌（ブドウ球菌、連鎖球菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ④Gram陰性桿菌（大腸菌、赤痢菌、サルモネラ菌、チフス菌、ペスト菌、コレラ菌、百日咳菌、腸炎ビブリオ菌、緑膿菌、ブルセラ菌、レジオネラ菌、インフルエンザ(桿)菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ⑤Gram陽性桿菌（破傷風菌、ガス壊疽菌、ボツリヌス菌、ジフテリア菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ⑥Gram陰性球菌（淋菌、髄膜炎菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 ⑦スピロヘータ、マイコプラズマ、リケッチア、クラミジアの微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 PS-01-03-14、PS-03-03 ①敗血症の症候と診断と治療を説明できる。 ②各病原微生物、各感染臓器の診断の手がかりとなる病歴と身体所見を説明できる。 ③抗菌薬適正使用(antimicrobial stewardship <AMS>)を説明できる。 ④細菌学検査（細菌の塗抹、培養、同定、薬剤感受性試験）の目的と適応を説明し、結果を解釈できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌感染症の基本的治療戦略 を学ぶ			
担当	牛木 淳人			
授業日	第 42 回	11月11日(水 1)	SB0s	PS-01-03-06、PS-01-03-14、PS-03-03 抗酸菌（結核菌、非結核性（非定型）抗酸菌）の細菌学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 結核症、非結核性（非定型）抗酸菌症の症候と診断と治療及び予防法を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	抗酸菌感染症の基本的治療戦略 を学ぶ。			
担当	赤羽 順平			
授業日	第 43 回	11月11日(水 2)	SB0s	細菌学講義の内容を中心とした演習を行う。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	細菌学演習			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 44 回	11月11日(水 3)	SB0s	PS-01-03-08 ・ウイルス粒子の構造を図示し、各部の機能を説明できる。 ・ウイルスの構造や性状によりウイルスを分類できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学総論：ウイルスの 分類・構造			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 45 回	11月12日(木 1)	SB0s	PS-01-03-09 ・ウイルスの宿主細胞への吸着、侵入、複製、成熟と放出の各過程を説明できる。 ・ウイルス感染細胞に起こる変化を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学総論：ウイルスの 生活環			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 46 回	11月12日(木 2)	SB0s	PS-01-03-10 ・主なDNAウイルスーヒトパルボウイルスB19、ヒトパピローマウイルス、アデノウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患を列挙できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：DNAウイルス ーパルボウイルス・アデノウ イルス			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 47 回	11月12日(木 3)	SB0s	PS-01-03-10 ・主なDNAウイルスー単純ヘルペスウイルス、水痘・帯状疱疹ウイルス、EBウイルス、サイトメガロウイルス、天然痘ウイルス、B型肝炎ウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明し、これらのウイルスが引き起こす疾患を列挙できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：DNAウイルス ーヘルペスウイルス・ポックス ウイルス・ヘパドナウイルス			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 48 回	11月16日(月 3)	SB0s	PS-01-03-15、PS-03-03 ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。 ワクチンの種類と問題点を説明できる。 予防接種について、適応と意義、種類とそれぞれの投与方法を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ワクチン			
担当	金井 信一郎			

授業日	第 49 回	11月16日(月 4)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 50 回	11月16日(月 5)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 51 回	11月16日(月 6)	SB0s	
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 52 回	11月17日(火 1)	SB0s	PS-01-03-09、PS-01-03-11 ・ヒトT細胞白血病ウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：ヒトT細胞白血病ウイルス			
担当	竹下 敏一			
授業日	第 53 回	11月17日(火 2)	SB0s	PS-01-03-09、PS-01-03-11 ・ヒト免疫不全ウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：ヒト免疫不全ウイルス			
担当	竹下 敏一			
授業日	第 54 回	11月17日(火 3)	SB0s	PS-01-03-09、PS-01-03-11 ・ヒトT細胞白血病ウイルス感染、ヒト免疫不全ウイルス感染によるリスク、合併症を列挙できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：レトロウイルス感染によるリスクーHAM・HIV母子感染・その他			
担当	竹下 敏一			
授業日	第 55 回	11月18日(水 1)	SB0s	PS-01-03-09、PS-01-03-26 ○ウイルスが発がんを促進する機序を説明できる。 ○免疫不全を背景としたEBウイルス陽性リンパ増殖性疾患の発症機序を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス発がん：ウイルス発がんについて学ぶ			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 56 回	11月18日(水 2)	SB0s	PS-01-03-11 ・ポリオウイルス、コクサッキーウイルス、エンテロウイルス、エコーウイルス、ライノウイルス、パレコウイルス、A型肝炎ウイルス、ノロウイルス、ロタウイルス、チクングニアウイルス、風疹ウイルス、コロナウイルス、新型コロナウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：RNAウイルスーエンテロウイルスなど			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 57 回	11月18日(水 3)	SB0s	PS-01-03-11 ・インフルエンザウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。 ・インフルエンザウイルスの病原性、変異のメカニズムについて説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：オルソミクソウイルス			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 58 回	11月19日(木 1)	SB0s	PS-01-03-11 ・ヒトパラインフルエンザウイルス、麻疹ウイルス、ムンプスウイルス、RSウイルスのウイルス学的特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：パラミクソウイルス			
担当	小嶋 克彦			

授業日	第 59 回	11月19日(木 2)	SB0s	PS-01-03-17、PS-03-03 ・アルゼンチン出血熱、ベネズエラ出血熱、ボリビア出血熱、ブラジル出血熱、ラッサ熱の病原ウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：出血熱			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 60 回	11月19日(木 3)	SB0s	PS-01-03-17、PS-03-03 ・ハンタウイルス、クリミア・コンゴ出血熱、SFTSウイルス、デングウイルス、ジカウイルス、日本脳炎ウイルス、ウエストナイルウイルス、黄熱ウイルスの特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。 PS-03-03 ・プリオン病、クロイツフェルトヤコブ病の特徴、リスク因子、感染経路と病態を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス学各論：ブニヤウイルス、フラビウイルス プリオン			
担当	小嶋 克彦			
授業日	第 61 回	11月20日(金 3)	SB0s	PS-01-03-09、PS-01-03-10 デオキシリボ核酸<DNA>ゲノムとリボ核酸<RNA>ゲノムの複製・転写を一般化し、説明できる。 PS-01-03-15、PS-01-03-26 ①ウイルスに対する中和反応と細胞性免疫を説明できる。 ②ワクチンによるウイルス感染症予防の原理を説明できる。 PS-01-03-17、PS-03-03 新興・再興感染症（中東呼吸器症候群(Middle East respiratory syndrome <MERS>）、ジカ熱、劇症型 A 群レンサ球菌感染症等）、人獣共通感染症、バイオテロに関連する感染症を列挙できる。 PS-01-03-14、PS-01-03-15、PS-03-03 ①インフルエンザの症候と診断と治療を説明できる。 ②新型コロナウイルス感染症の症候と診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	ウイルス感染症の基本的治療戦略を学ぶ			
担当	和田 洋典			
授業日	第 62 回	11月20日(金 4)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-14、PS-01-03-15、PS-03-03 ①標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。 ②患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。 ③医療従事者の体液曝露後の感染予防策を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	院内感染（1）			
担当	金井 信一郎			
授業日	第 63 回	11月20日(金 5)	SB0s	PS-01-03-02、PS-01-03-14、PS-01-03-15、PS-03-03 ①標準予防策(standard precautions)、感染経路別予防策（飛沫感染予防策、接触感染予防策や空気感染予防策等）が必要となる病原微生物を説明できる。 ②患者から医療従事者への病原微生物曝露を防ぐための個人防護具、予防接種等を概説できる。 ③医療従事者の体液曝露後の感染予防策を概説できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	院内感染（2）			
担当	金井 信一郎			
授業日	第 64 回	11月20日(金 6)	SB0s	PS-03-03 洗浄・消毒・滅菌について説明できる。 ス波尔ディングの分類について説明できる。 消毒レベルによる消毒薬の分類と消毒薬の特徴を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	洗浄・消毒・滅菌			
担当	金井 信一郎			
授業日	第 65 回	11月24日(火 1)	SB0s	PS-01-03-12、PS-03-03 真菌(アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル(ムコール))の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 コンプロマイズドホストと日和見感染症を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	真菌感染症の病態と病理：真菌感染によって生じる病態を学ぶ			
担当	藤井 千文			
授業日	第 66 回	11月24日(火 2)	SB0s	PS-01-03-12、PS-03-03 皮膚真菌症（表在性、深在性）の症候と病型を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	真菌症			
担当	小川 英作			
授業日	第 67 回	11月24日(火 3)	SB0s	PS-01-03-12、PS-03-03 真菌（アスペルギルス、クリプトコックス、カンジダ、ムーコル（ムコール））の微生物学的特徴とそれが引き起こす疾患を列挙できる。 真菌感染症診断における直接塗抹、培養検査、抗原検査、核酸増幅検査を説明できる。 カンジダ症、クリプトコックス症、アスペルギルス症の症候と診断と治療を説明できる。 ニューモシスチス肺炎の症候と診断と治療を説明できる。
講義室	医学科第1臨床講堂			
GI0	真菌感染症の基本的治療戦略を学ぶ。 ○授業のふりかえりを入力する			
担当	牛木 淳人			

授業日	第 68 回	11月27日(金 3)	SB0s	
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 69 回	11月27日(金 4)	SB0s	
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 70 回	11月27日(金 5)	SB0s	
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 71 回	11月27日(金 6)	SB0s	
講義室	医学科第 1 臨床講堂			
GI0	自習			
担当				
授業日	第 72 回	11月30日(月 4～6)	SB0s	期末試験を行う。
講義室	旭総合講義室 A B			
GI0	感染症（2年）期末試験			
担当	小嶋 克彦, 内藤 隆文, 金井 信一郎, 牛木 淳人			